

算数科学習指導案

単元名：かけ算（１）いくつ分とかけ算 「どんなかけ算ができるかな」 （全 16 時間扱い中 第 3 時）	授業日時	2021 年 10 月 14 日（木）第 3 校時
	授業学級	2 年東組
	授業会場	2 年東組教室
	授業者	
	指導者	

（１）主眼（授業の手立て＆ねらい）

かけ算は「ひとつ分の数×いくつ分＝全体の数」を理解した子どもたちが、教室にあるものからかけ算を作る場で、ティッシュ箱の高さを求めたり、かけ算ができるものを見つけ、一つかけ算を作ることを通して、身の回りにも多くのかけ算があることを理解し、基準量のいくつ分という見方を用いて一から掛け算を作ることができるようになる。

（２）展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・ 【教材】	時間
--	------	-------------	--------------------------	----

導入	1. ティッシュ箱の高さをかけ算で求めるにはどんな式が良いか考える	○「ティッシュだ！」 ○「ひとつ分の数×いくつ分だよ」 ○「それで全体の数が求められる」 ○「メートル！」 ○「センチメートル！」 ○「えーわかんないな」 ○「裏技!？」 ○「なるほど。全体の数がc mの時は、一つ分の数もc mになるのか」 ○「私お手伝いしたい」 ○「あー、6センチだ！」 ○「いくつ分って、何個分てことだから、5個！」 ○「ええと、6センチメートル×5は、30!で30センチだった」 ○「6センチメートルが5個って言う事は、6+6+6+6+6で、30」 ○「へーんしん！」 ○「何々!？」 ○「できる！」 ○「それもできる！」 「探してみたい。」	じゃーん。これなーんだ。 ○用意したティッシュ箱を示し、「今日はまずこのティッシュ箱の5個積んだ高さをかけ算で求めてみたいと思います！」 ○「じゃあ、かけ算って何×何で答えが求められるんだっけ？」 ○「高さを表す記号ってわかる？」 ○「では、一つ分の数に当てはまるのは、なんだと思いますか？」 ➡わからなかったら大ヒント 「これ裏技ね。求めたい全体の数と一つ分の数って、同じ数って言葉が使われているよね？」 ○「じゃあ、一つ分の数が何センチなのか測ってみましょう」→タブレット・ものさし〈短〉 ➡お手伝いさんを呼ぶ ○「ではいくつ分に当てはまるのは何かな？」 ○「ではみんな2分とります。このかけ算の答えを求めてみましょう!」「でははじめ!」 ○「答え分かる人？」 ○「どうやってやった？」 ➡かけ算だけでなく足し算の確かめ算も行う。 ○「かけ算は足し算にへーんしん!できるんだっけね。」 ○「じゃあ確認してみるか」→ものさし ➡お手伝いさん ○「あっていたね!」 ○「みんな!かけ算で高さを求めることができた」「拍手」 ○「ああ!見て!あのおぼんの高さ、ティッシュの高さを求めたみんななら、かけ算で求められるんじゃない？」 ○「ああ!こっちも見て!縦に二段のロッカーが、1、2、3、4、5、6、7つあるね!」 「ロッカーの穴の数も、かけ算でもとめられるんじゃないかな？」 ○「先生は教室の中で、ティッシュの高さをかけ算で求めました。」 ○「みなさんは教室の中でどんなかけ算を作れますか？」	15
			【学習問題】教室の中でどんなかけ算がつかれるのかな？ 【ティッシュ箱・タブレット・スクリーン・ものさし】 ※お盆の高さなどは10段未満に調節しておく。	
	【学習課題】教室の中でかけ算ができるものを見つけ、一つかけ算を作ろう!			

展開	2. 教室内でかけ算を探す 3. ワークシートに書き込む 4. 友だちに発見したものを共有する	○「先生も言っていたけど、ロッカーの数はかけ算できるね」 ○「机の数も椅子の数もあるよ。」 ○「お盆やってみようかな」 ○「先生、一つ分の数といくつつ分ってどっちがどっちだっけ？」 ○「私が発表する」 ○「私は、机の数を 6×6 で計算しました。ひとつの列だけ、一個多いので、全部の数は 37 です。」 ○「私はお盆の数を数えてみました。」 ○「私たちの周りにも掛け算ってたくさんあったんだね。」	【ワークシート】配布 ○「では教室の中にどんなかけ算があるのか探してみたいと思います。」 ○「一人で探してもいいし、お友達と探してもよいです。必ず、11:25 までに一つ見つけてください」 ○「このワークシートに沿って書いてくださいね。裏に、先生が例を作ったので、参考にしながら、書き進めてね。」 ○机間指導しつつ、進捗を確認。ヒントも出す。 ※時間は何時までか明確に指示 ○「見つけたかけ算をワークシートに書き込んでみましょう」 場所・一つ分の数・いくつつ分・全体の数の記入を指示。裏にある先生の例を参考にしよう指示。 ○「みんなにどんなかけ算ができたか発表してみましょう」 ➡時間次第で発表の人数を指定 ○「発表したい人？」 ○「友だちがどんなかけ算を見つけたか、みんな知りたい？」 ○「じゃあ、先生はみんなが見つけたかけ算を 1 冊の本にします。出来上がったら友達の作ったかけ算を見てみてね。」	(2・3 あわせて、20 分) 7 分
	5. 宿題の把握	○「家にもかけ算があるのかな？」 ○「障子の数を数えてみたいな」 ○「お母さんと探してみたい」	○「先生から今日の宿題を出します！」 ○「おうちにあるかけ算を見つけてこられるかな？」 ○「授業では、たった一つだったけど、おうちではもっと見つけてきていいよ！」 【ワークシート二枚目】	3

【本時の評価（評価する対象）】

教室にあるもので、かけ算を一から作っている。(ワークシート)